

企 画 書

『内 容』

- ・ 日野が動く、時代が変わる、時代を読む。
サイバー日野ひの史跡、歴史紹介コンテンツ

特定非営利活動法人サイバー日野
『事務局』

〒191-0062

東京都日野市多摩平1-10-4 清水ビル4F

TEL:042-584-0730 FAX:042-581-2131

e-mail:info@c-hino.org

URL:http://www.c-hino.org/

担当：志村



今、広報ひのに掲載されている記事を・・・



電子化すると同時にデータベースにして追加情報など入れられる様にし、さらにインターネットへから検索出来るようにする。

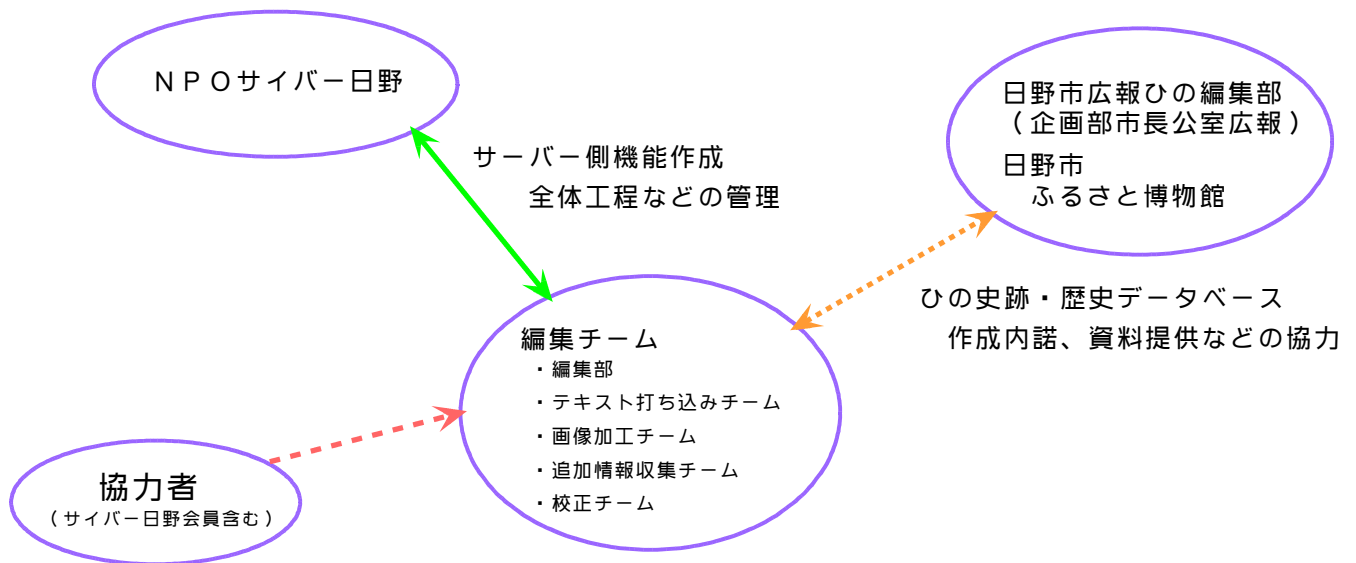
『目的』

○昭和41年の「郷土史ライブラリー」から始まり、現在まで日野市広報に掲載されている「日野歴史・史跡紹介」をデータベース化し、併せてインターネットで公開する事によりこの掲載記事に広く市民や日野に興味を持っている方がいつでも接することが出来、あらゆる面で活用して頂ける場の提供が目的。また、デジタル化&データベース化して行くことで新しい情報を追加していく事ができる。

★広報に掲載されている「日野歴史・史跡紹介」の記事について。

・昭和41年の「郷土史ライブラリー」から始まり、現在まで連載されてきた30年近くの期間には日野市史の編纂、ふるさと博物館の開館、市政図書館の充実など「歴史資料」をめぐる整備が行われ、知的要求に対するサービスは向上しました。しかし、今、改めて、300余りの掲載記事を読み返してみますと、歴史紹介のみならず、筆者の方々の思いも伝わり、また、この30年で100年間分を走ってしまったように激変した、日野市の今に繋がる歴史の様子を知る資料としても興味深い記事となっていますので一度ご覧になっては如何でしょうか？また、昔の記事については市政図書館にございます。

『体制』



- ①サイバー日野内に編集室を開設し取りまとめを行う。(各担当・役割など)
- ②文章入力にはサイバー日野会員有志、及び、日野市広報誌などを通じ、市民からの協力者を集う。

☆作成に関しては事前に広報ひの編集部並びに、ふるさと博物館からは転載の形であれば問題は無く、資料提供(欲しい資料のリスト化して依頼すれば時間をみて揃えてくれるとの事)などのご協力を頂けるとの事です。

『内容』

- ①掲載記事については筆者、掲載時期を明記し、原文をそのまま入力する。
- ②原文だけでは面白くないので今日との違いなどわかるような物を独自に取材し掲載する。
- ③関連著書や関連した内容を紹介しているサイトへのリンク、その他情報を掲載する。
- ④掲載当時と比べ、現在ではなくなってしまうもの、大きく変化してしまった記事についてはコメントを付ける。(随時)
- ⑤同じ内容のページとの相互リンク

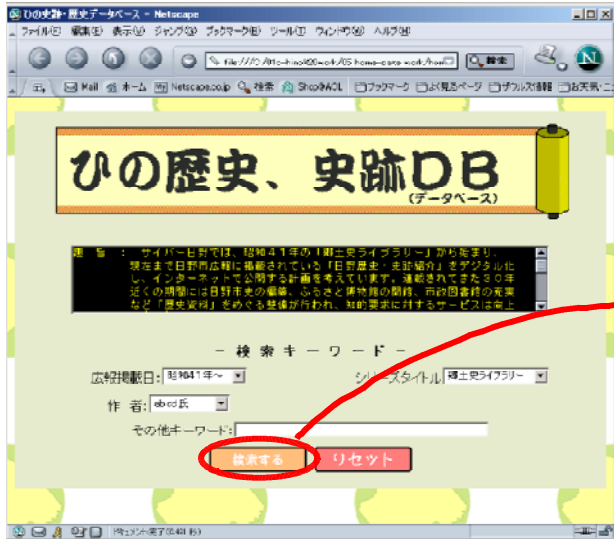
『インターネット公開について』

- ①学校教育、生涯教育などにも便利に利用できる検索機能を付加する。
- ②無料で一般に公開する。

「別途資料」

- ・作成するリスト一覧。
- ・作成に関する注意点
- ・チラシ
- ・協力者一覧(非公開)

画面デザイン (イメージ)



☆検索条件にマッチしたものが一覧表示される。
 (1頁最大12項目されそれ以上ある場合は分割)
 ☆公開されている項目はリンクが設定されているのでクリックすると
 詳細情報が表示される。



☆検索キーワードを選んだり、入力して検索する
 を押すと。



広報掲載原文表示部分。詳細については別紙参照下さい。
 また、原文に画像データが有る場合はその画像についての
 キャプションを着けられるようにする。

この画面イメージは「広報ひの掲載記事」
 郷土史を語る 91 甲武鉄道と百草園～日野を訪れた文人たち
 筆者：日野市史編集委員 沼 謙吉
 【日野市広報昭和61年10月01日号掲載記事を転載。】

追加画像表示部分
 他に写真(絵)の説明・提供者・撮影年月の記載。

追加情報の部分については掲載基準の策定が「必要」。
 ○内容は？・担当者は？・掲載周期は？・表示の仕方は？
 等… 色々な人の意見を聞いて決める。

追加情報表示部分
 主に関連著書や補足説明、関連サイトへのリンク

――「今後のスケジュール」――

第1ステップ【既存記事のデータベース化】

- 2003.01末～ : 仕様詰め並びに協力者募集開始と共にサーバー側システム構築開始。
- 2003.3中頃 : システムサンプルの作成（紙芝居）し、市関係部署へのお披露目。
- 2003.04～ : 協力者の協力を基に記事打ち込み（テキスト化）開始。
- 2003.04末 : ひの史跡・歴史データベースシステムテスト完了。
- 2003.05～ : 協力者と編集部によるデータベースへの登録開始。
- 2003.06末 : 運用開始。

第2ステップ【追加情報】

- 2003.07頃～ : 既存記事の画像データを中心に掲載出来るよう準備する。